

学校訪問シリーズ 110

大分市立大在西小学校から学ぶ

学校の教育目標「自分で考え、判断する子ども～子どもの自律をめざして～」を達成するため、

- ① 学習内容の基礎・基本を身につけた子ども
- ② 自分の思いを適切に表現できる子ども
- ③ 「できる」を増やし、自分を高める子ども

と、育成を目指す資質・能力の3本柱を基盤とした子ども像を重点目標とし、それぞれ4部会が毎月、目標に対する成果と課題を明確にして、翌月の取り組みを設定する、短期の検証・改善を行っています。

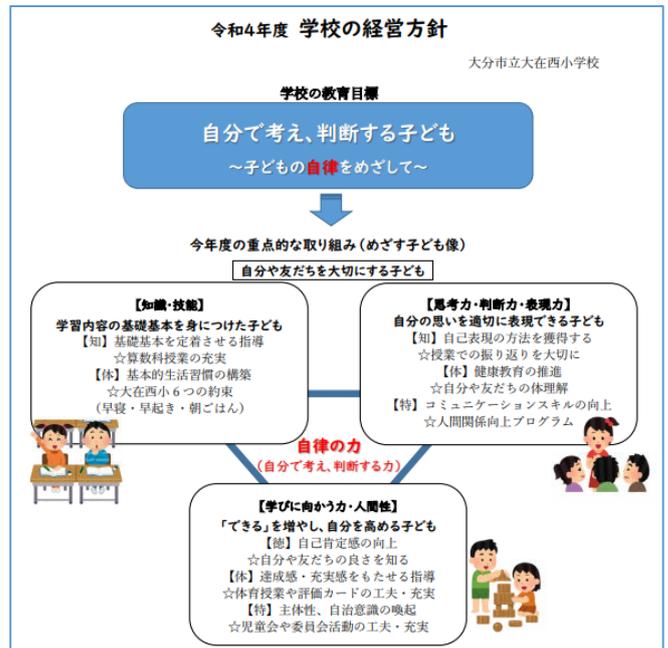
また、今年度の最上位の目標を「自分や友だちを大切にする子ども」として、「『自分が嫌だと思ふことをしない、言わない』を守っている児童100%」と定め、全校をあげて取り組む方向を明確にしています。



このように、最上位目標を明確にすると、本校のような大規模校にあっても職員や子ども達もゴールイメージが共有されるので、それぞれの取組等は部会や学年部、児童会に任せることができ、当事者意識が高まります。また、「家での6つの約束」の真の目的も明確になり、保護者との目標協働も行われやすくなります。

本校では、「授業改善による学習内容の基礎基本の定着」に取り組まれ、「イメージする力」「見通す力」をつけるために、必然性のある課題づくりや、単元をとおした「めあて」の設定を行っています。参観した授業でも、子ども達は見通しをもちながら授業に参加していました。

今後は、課題をつかめていない子どもを一人もつくらないためにも、挙手する子どもの意見だけでなく、ペアでの確認や、短時間の学び合いを複数回行ってみたいはいかがでしょうか。そのことにより、子どもをより俯瞰的に見ることができ、児童の考えを「つなぐ」「表現する」活動へ活かされると思いました。



NO.578 2022年12月 大分市立大在西小学校

自律する

正しいと思ったことは、行動する。周りに流されない。自分に責任をもつ。



NO.580 2022年12月 大分市立大在西小学校

自分で考える

学び合うためには、自分の考えを持つことは大切。そのために、既習を振り返る。さらに、調べる。



NO.579 2022年12月 大分市立大在西小学校

判断する

判断するためには、これまでの経験や学習を振り返るだけでなく、いろいろな友達の見解も参考にする。